# *Powereffect* ZC-リミット 取扱説明・取付要領書

| 商品番号 | 460032 |
|---|---|
| 商品名 | *Powereffect* ZC-リミット |
| 適用車種 | スズキ スイフトスポーツ ZC31S |

この度は *TRYFORCE_COMPANY* オリジナルパーツをお買い上げいただきましてありがとうございます。正しく装着し、安全にご使用していただくために本説明書を必ずお読みになり、十分理解して下さい。また、お読みになった後は常時再確認できるところに必ず保管して下さい。

部品リスト

| NO | 部　品　名 | 数 量 |
|---|---|---|
| 1 | マフラー本体 | 1 本 |
| 2 | ガスケット | 1 枚 |
| 3 | ナット | 2 個 |
| 4 | 取扱説明書 | 1 部 |

**！注意！**

・マフラーの取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため整備の整った自動車整備工場または販売店に依頼または相談して下さい。

・マフラー取り付ける際に必ず安全な場所に車両を完全に停止させたことを確認してから作業を行って下さい。また停止させてすぐ作業を行いますと、エンジンや消音器、そのまわりが高温になっておりますので作業は低温になったことを十分確認してから行って下さい。けが、やけどの原因になります。

・マフラーを取り付ける際は必ず自動車用ジャッキを使用して下さい。やむをえずガレージジャッキを使用する場合はリジットラック、うま（安全スタンド）を併用して作業して下さい。車載ジャッキでの作業は危険ですのでおやめ下さい。

・マフラーを指定の取付位置以外での取り付けはしないで下さい。誤った位置への取り付けは落下や故障だけではなく交通事故やけがなどにつながります。

・マフラーを取り付ける際、過大な力を加えたり、物をぶつけたり、叩いたりしないで下さい。故障の原因になることがあります。

# *Powereffect* ZC-リミット 取扱説明

**！警告！ 作業中のやけど、けがに注意！**

1.純正マフラーを自動車メーカーの作業手順に従って取り外して下さい。

注）純正マフラーを取り外した中でラバーブラケット、ボルト、ナット、ガスケットは再使用します。また必要に応じて新品への交換をお薦めします。

2.本製品の取り付けは自動車メーカーの作業手順と基本的には同様ですが、形状等が異なるため下記事項を確認しながら作業を行って下さい。

⑴マフラーを自動車に仮付けします。（ボルトは締め付けずに仮付けにします）

⑵マフラーの位置関係、クロスメンバーまたはその他周辺部品とのクリアランスなどを確認して下さい。

⑶仮付けしてあった各部のボルト・ナットを自動車の前部からそれぞれ均等に締め付けます。その際にフランジとガスケットのずれを確認しながら行って下さい。

⑷締め付けが完了したらテールパイプと自動車のクリアランスを確認して下さい。テールパイプが近すぎていたり接触している場合はご面倒でも最初から締め直して下さい。接触をそのまま放置しますと異音が生じたり、**配線・配管が溶ける**等の問題が生じます。

⑸取り付けが完了したら再度取り付けたマフラーを手で揺さぶって異音、クリアランスを確認して下さい。
接触部分があるようでしたらご面倒でも最初から締め直して下さい。

⑹エンジンを始動して暖機運転をし、約 2500 回転で各フランジからの排気漏れ、各部の異音を確認して下さい。異音が見つかった場合はご面倒でも再度取り付けし直して下さい。

**裏面もお読み下さい**

# *Powereffect* ZC-リミット　取扱説明

安全に取り扱いいただくために本紙「取扱説明」を良く読み正しく扱って下さい。

**取扱の前に　！注意！**

・ZC-リミットはその自動車の標準地上高またはそれに近い状態において路面に対してのクリアランスが確保されように設計されています。車高を下げる改造を行った場合、路面や駐車場などの突起物に接触して破損したり接触物を破損するとがあります。または接触部分より排気ガスが漏れる可能性があるため車高を著しく下げないようにして下さい。

・自動車の消音器関係は正しい取扱をしても自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で消音性能が劣化したり、腐食して穴があくとがあります。このような場合は速やかに販売店や整備会社にご相談していただき、製品本来の性能が失われていたら弊社の製に交換して下さい。また、腐食や劣化を放置すると排気ガスが車体の下部に漏れて火災の危険があるとともに、整備不良運行で運転者が罰せられることがあります。

・自動車の消音関係は長時間のアイドリング、走行を致しますと大変熱くなります。燃えやすい物の上や枯れ葉などの上にエンジをかけたまま、または停止直後に停車や駐車を致しますと火災の危険があります。その場合は必ず自動車の下に燃えやすい物ないかを十分に確認してから停車して下さい。

・エンジンをかけたまま休息や、仮眠をすると排気による一酸化炭素中毒の危険があります。その場合は必ずエンジンを停止して下さい。また換気をこまめに行って下さい。

・排気ガスの中には有害な成分が含まれています。閉め切った車庫や倉庫などでエンジンをかけ続けると一酸化炭素中毒のおそれがあります。必ずエンジンの停止、または換気をして下さい。

・マフラーのテールパイプからは有害な排気ガスが排出されます。停車中または駐車中にテールパイプ付近に人（特に幼児）やペットなどがいてエンジンをかけ続けると一酸化炭素中毒のおそれがあります。必ずエンジンを停止して下さい。また風向きにも十分注意して下さい。

・エキゾーストマニホールドや触媒は特に高温になっておりますので触れないようにして下さい。やけどをするおそれがあります。

・リヤゲートやトランクから荷物を出し入れする時に衣類や持ち物がマフラー出口に触れますと着火したり焦げ、溶けることもあります。またお子様がお手を触れないよう十分注意していただくとともに、停車や駐車する場合はその危険が周囲にないか気を付けて下さい。

**ご使用方法**

1.ご使用の際は空ぶかしや長時間にわたるアイドリングはおやめ下さい。消音能力の低下や、停滞した**排気熱害**でエンジンルームその他電装品やプラスチック部品など、補器類などが**故障・溶ける**などの機能障害が出る場合があり、重大事故につながる可能性もあります。

2.サーキット走行など特殊な用途でのご使用では製品の耐用期間が著しく低下致します。あらかじめご了承願います。

3.この製品はすでに改造されている自動車に適合するものではありません。改造された自動車に装着される場合は法令で定められた改申請等の届け出を行い検査合格後にご使用して下さい。またその場合には自動車や本製品が破損することがあっても弊社は一切その責任を取り兼ねますのであらかじめご了承下さい。

4.300km～500km 走行時に各部にゆるみがないか点検し増締めをして下さい。

5.必要に応じて近接各部の遮熱をおこなって下さい。

**以上のことに十分注意し、安全に走行して下さい**

お問い合わせ

〒384-0092　長野県小諸市平原 661-2

有限会社トライフォースカンパニー

TEL:0267-31-0751　FAX:0267-31-0752

info@tryforce.jp

www.tryforce.jp